

リニモ沿線地域づくりの状況

1. ハード面（各駅の状況）

対象地域	「構想」で示した主な取組	現状
長久手古戦場駅	・長久手中央土地区画整理事業 ・土地区画整理事業等による市街地整備の誘導(長久手町長湫地区、日進市北新地区)	・長久手中央土地区画整理事業では、22年11月、商業事業者としてイオンが決定。24年10月に仮換地指定、整備工事に着手
芸大通駅	・地区計画等による住宅地整備の誘導 ・土地区画整理事業等による市街地整備の誘導(日進市北新地区)	・日進市北新地区は、日進東口論議土地区画整理事業として、24年8月から仮同意収集を実施中
公園西駅	・地区計画等による住宅地整備の誘導	・長久手市が、25年5月に環境配慮型まちづくり基本計画を策定。公園西駅周辺土地区画整理事業では、25年7月事業計画決定が公告された。25年1月、商業事業者としてイケアが決定
愛・地球博記念公園駅	・地球市民交流センターの整備 ・集客力の充実強化	・22年10月地球市民交流センターオープン ・24年10月健康スポーツ広場(多目的広場)オープン
陶磁資料館南駅	・「知の拠点」の整備(先導的中核施設、中部シンクロトン光利用施設(仮称)等)	・24年2月あいち産業科学技術総合センターオープン ・25年3月シンクロトン光センターオープン
八草駅	・土地区画整理事業等による市街地整備の誘導(豊田市八草地区) ・民間企業の研究開発施設など産業の集積用地の整備(豊田市八草地区)	・八草地区市街地整備事業では、豊田市が、事業費の精査と事業採算性について再検討し、進出企業の動向調査等を踏まえた事業方向性の整理を実施予定。 ・八草地区産業用地整備については、豊田市が、地権者との合意形成に向け調整中

1-2. ハード面の課題について

▼背景(例)

- ・大学などの動き(南山大学等の都心回帰、愛知淑徳大学等の施設増強 など)
- ・愛・地球博記念公園でのイベント開催時における道路渋滞の発生

▼想定される課題(例)

- ・リニモの定期利用者の減少など
- ・商業事業者の進出による更なる道路渋滞の発生

▼対応施策

⇒どのような対応施策が考えられるか

※他に課題などがありましたら、それについて発言いただいても結構です。

2. ソフト面（リニモ沿線地域づくり調査研究会のこれまでの取組）

年度	地域活動支援	その他
21年度	・学生によるリニモ沿線まちづくり調査研究・提言事業(10万円/3件)	・沿線のまちづくりについて、ハウスメーカー・行政による勉強会を開催
22年度	・学生によるリニモ沿線地域活動の支援(20万円/4件)	・沿線のまちづくりについてハウスメーカー・行政による勉強会を開催
23年度	・NPO、地元住民、学生などによる地域活動の支援(50万円/3件)	・リニモ沿線4市の観光パンフレットの作成
24年度	・NPO、地元住民、学生などによる地域活動の支援(50万円/3件)	

2-2. ソフト面の課題について

▼背景(例)

- ・リニモ沿線地域づくりを担う多様な市民団体・学生団体等が活動している
- ・全国各地で大学コンソーシアムが形成されている
- ・リニモ沿線地域にある観光・文化・農業等の一体的な情報提供がなされていない

▼想定される課題(例)

- ・地域活動団体の横のつながりの形成 及び 団体の活動支援体制の充実
- ・リニモ沿線に所在する大学間の連携(コンソーシアムの形成など)
- ・ホームページ、ミニコミ誌などを用いた効果的な沿線情報の発信

▼対応施策

⇒どのような対応施策が考えられるか

(リニモ沿線地域づくり調査研究会として、平成26年度はどのような事業に取り組むべきか。)

※他に課題などがありましたら、それについて発言いただいても結構です。

(参考)

①. 構想対象区域(長久手古戦場駅～八草駅半径1km圏内)人口推移

○平成20年10月1日時点

合計	12,300人
瀬戸市	208人
豊田市	621人
日進市	227人
長久手市	11,244人



○平成25年4月1日時点

合計	12,533人
瀬戸市	204人
豊田市	594人
日進市	205人
長久手市	11,530人

(各市統計より)

※構想目標人口：平成37年度(2025年)時点で25,000人～30,000人

②. リニモ利用者数/日 推移

○平成20年度 16,500人/日



○平成24年度 19,100人/日

※平成24年度19,100人/日で当初予測利用者数の約56%

経営改善計画(H25.3)による見通し：平成30年度(2018年)時点で23,500人/日